

少子高齢化が進む人口1万人の小さな町の大きな改革！！
～行政のスリム化と雇用の創出～九重町100%出資株式会社の設立（大分県九重町）

取組概要

大分県九重町では「町が発起人・全額出資」による商法上の株式会社を設立しました。
地域住民の雇用機会確保を目指して、「民間でできることは民間で」という基本姿勢に基づき、幅広い業務を「このえまち総合サービス株式会社」に委託して、小さな行政組織の構築を目指しています。

取組の効果

2名の正社員及び11名の臨時社員で計13名の雇用創出ができました。
また、幅広い業務を会社に委託することによって、行政のスリム化の方向へ徐々に向かっています。

創意・工夫した点

全国4か所の先進地に視察に伺い、それぞれの会社設立にいたるまでの取り組みを学び、どのような会社の形態が町の目指す姿なのか議論を重ねてきました。

他団体へのアドバイス

今一度事務を見直し、民間でできることは民間で実施し、本来行政がやるべき業務に限られた職員をあてることで、今後迎える超高齢化社会とますます多様化する住民ニーズに対応した、より質の高い住民サービスが提供できるのではと考えています。

人口 9,342 人 (R2.1.1現在)
担当 企画調整課



九重“夢”大吊橋での観光案内



委託した草刈り作業の様子